

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記検査項目におきまして、検査内容の変更をご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

■ 受託中止

● 対象項目

項目コード	検査項目	中止理由	代替項目
36885	ミトコンドリア-AST (m-AST) (m-GOT)	測定試薬の 終売	代替項目は ありません

- 最終受託日 2023年3月31日(金) ご依頼分まで

■ 項目変更

- 変更日 2023年4月3日(月) ご依頼分より

*細胞性免疫検査項目の報告書変更については、4月3日(月) ご報告分より変更させていただきます。

● 変更項目

検査項目	腭ホスホリパーゼ A ₂ (腭 PLA ₂)	レニン活性 (PRA) [EIA]
	中性脂肪 (TG)	アルドステロン [CLEIA] /レニン濃度比
	総コレステロール (T-Cho)	アルドステロン [CLEIA] /レニン活性比
	HDL-コレステロール	ムンプスウイルス IgG
	LDL-コレステロール	HTLV-1 核酸検出 定性
	リウマチ因子 (RF) 定量	HTLV-1 プロウイルス DNA 定性
	遊離トリヨードサイロニン (Free T ₃) [CLEIA]	特異的 IgE (View アレルギー-39)
	アルドステロン [CLEIA]	細胞性免疫検査項目
	レニン濃度 (ARC) [CLEIA]	

■ 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
0001 9	中性脂肪 (TG)	検査方法	変更はありません	酵素法 (GK-GPO・遊離グリセロール消去)	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、JCCLS 共用基準範囲の採用、報告範囲の変更
		基準値 (単位)	M 40~234 F 30~117 (mg/dL)	50~149 (mg/dL)	
		報告範囲	3未満、 3~99999999	2未満、 2~99999999	
		報告桁数	変更はありません	有効 8 桁、整数 8 桁、小数 0 桁	
		JLAC10 コード	変更はありません	血清 3F015-0000-023-271	
A449 3	遊離トリヨードサイロニン (Free T ₃) 〔CLEIA〕	検査方法	変更はありません	CLEIA	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、検査要項は変更なし、現法と新法との相関について示します
		基準値 (単位)	変更はありません	2.52~4.06 (pg/mL)	
		報告範囲	変更はありません	0.67 未満、 0.67~29.9、 30.0 以上	
		報告桁数	変更はありません	有効 3 桁、整数 2 桁、小数 2 桁	
		JLAC10 コード	変更はありません	血清 4B015-0000-023-052	
6191 3	ムンプスウイルス IgG	検査方法	変更はありません	EIA	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、反応性向上
		基準値 (単位)	血清 変更はありません 髄液の基準値を削除	血清 2.0 未満 陰性 判定基準：下記参照 (なし)	
		総合検査案内欄外記載	固相法：髄液は測定可能ですが、参考値となります。 検体量 0.4mL (冷蔵)	固相法：髄液の測定も可能です。 検体量 0.4mL (冷蔵) 基準値 0.20 未満 陰性	
		報告範囲	変更はありません	2.0 未満、2.0~127、128 以上	
		報告桁数	変更はありません	有効 3 桁、整数 5 桁、 小数 1 桁	
		JLAC10 コード	変更はありません	血清 5F432-1431-023-023	
0003 7	総コレステロール (T-Cho)	基準値 (単位)	142~248 (mg/dL)	150~219 (mg/dL)	JCCLS 共用 基準範囲の 採用
M006 2	HDL-コレステロール		M38~90 (mg/dL) F48~103 (mg/dL)	M 40~86 (mg/dL) F 40~96 (mg/dL)	
M005 3	LDL-コレステロール		65~163 (mg/dL)	70~139 (mg/dL)	
血清 3788 4 血漿 4067 3	腓ホスホリパーゼ A ₂ (腓 PLA ₂)	総合検査案内	 マークの追加	—	適切な表記へ変更
		容器の取り扱い方法 (血漿の個所)	左図の容器に採血し、よく混和させ、低温 (4℃) で血漿分離してください。血漿は必ず凍結保存してください。	左図の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。血漿は必ず凍結保存してください。	

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考		
A237 8	HTLV-1 核酸検出 定性	保存 (安定性)	冷蔵 (14 日)	冷蔵 (3 日)	安定期間表 記の変更		
A232 3	HTLV-1 プロウイルス DNA 定性						
血漿 9073 1	アルドステロン 〔CLEIA〕	総合検査 案内備考 欄	下記参照 ※1 &エ	&エ			
血清 9039 9							
9040 7	レニン濃度 (ARC) 〔CLEIA〕					下記参照 ※2 &エ	&エ
A719 3	レニン活性 (PRA) 〔EIA〕					下記参照 ※3 &1	&1
B687 8	アルドステロン 〔CLEIA〕/レニン濃 度比					基準値は、日本内分泌学会の「原 発性アルドステロン症診療ガイ ドライン 2021」によるカット オフ値です。 下記参照 ※1、2 &エ	基準値は、日本内分泌学会の 「原発性アルドステロン症診 療ガイドライン 2021」によ るカットオフ値です。 &エ
B691 3	アルドステロン 〔CLEIA〕/レニン活 性比	基準値は、日本内分泌学会の「原 発性アルドステロン症診療ガイ ドライン 2021」によるカット オフ値です。 下記参照 ※1、3 &エ	基準値は、日本内分泌学会の 「原発性アルドステロン症診 療ガイドライン 2021」によ るカットオフ値です。 &エ	同時受禁止 項目につい て記載を追 加			
※共通 9073 1、9039 9 アルドステロン〔CLEIA〕 9040 7 レニン濃度 (ARC)〔CLEIA〕 A719 3 レニン活性 (PRA)〔EIA〕 B687 8 アルドステロン〔CLEIA〕/レニン 濃度比 B691 3 アルドステロン〔CLEIA〕/レニン 活性比		総合検査 案内欄外	※1：「9073 1、9039 9：アルドステロン〔CLEIA〕」、 「B687 8：アルドステロン〔CLEIA〕/レニン濃度比」、「B691 3：アルドステロン〔CLEIA〕/レニン活性比」は同時依頼はで きません。 ※2：「9040 7：レニン濃度 (ARC)〔CLEIA〕」、「B687 8：アルドステロン〔CLEIA〕/レニン濃度比」は同時依頼はで きません。 ※3：「A719 3：レニン活性 (PRA)〔EIA〕」、「B691 3： アルドステロン〔CLEIA〕/レニン活性比」は同時依頼はでき ません。				
A294 5	特異的 IgE (View アレルギー 39)	報告内容	アレルゲンの並びを変更 (※並び以外の変更はありませ ん)	—	より適切な 順番へ変更		
—	細胞性免疫検査項目	報告書	白紙用紙に印字	プレプリント用紙	報告書の統 一化		

■ 中性脂肪 (TG)

測定試薬の販売終了、新試薬販売により測定試薬を変更いたします。これに伴い、基準値（試薬添付文書記載のJCCLS共用基準範囲を採用）、報告範囲を変更させていただきます。

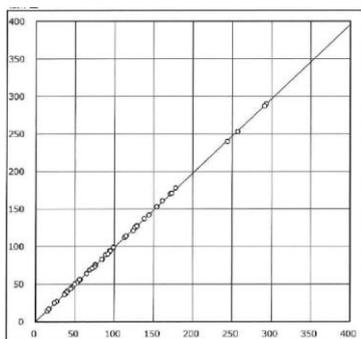
▼ 現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目コード	変更はありません	00019
検査方法	変更はありません	酵素法 (GK-GPO・遊離グリセロール消去)
基準値 (単位)	M 40~234、F 30~117 (mg/dL)	50~149 (mg/dL)
報告範囲	3未満、3~99999999	2未満、2~99999999
報告桁数	変更はありません	有効8桁、整数8桁、小数0桁
JLAC10コード	変更はありません	血清 3F015-0000-023-271

● 参考文献

Tamaoku K et al : Chem Pharm Bull 30 (7) : 2492~2497, 1982.
(検査方法参考文献)

● 相関図



n=50
 $Y=0.9887X+0.1$
 $r=0.999$
 Y軸：新法 X軸：現法

2022_18【予告】検査項目受託中止及び基準範囲変更のお知らせ でご案内させていただきました通り、中性脂肪 (TG) の測定試薬販売終了を受け、共用基準範囲に適応した試薬への変更を行います。これに伴い、総コレステロール、HDL-コレステロール、LDL-コレステロールの計3項目の基準範囲も共用基準範囲に変更いたします。

項目名	単位	現在			変更後				
		性別	基準範囲		性別	基準範囲			
中性脂肪	mg/dL	—	50	~	149	男性	40	~	234
		—	150	~	219	女性	30	~	117
—		150	~	219	—	142	~	248	
男性		40	~	86	男性	38	~	90	
女性		40	~	96	女性	48	~	103	
LDL-コレステロール	—	70	~	139	—	65	~	163	

■項目変更による注意点

1. 現在のご依頼項目と2023年4月3日変更項目は、同一項目コードで運用いたします。
2. 2023年4月3日受付分より検査法、基準範囲が変更になりますので、2023年4月1日以前の検体追加はできません。
3. 同一項目コードではありますが、基準値が変更なる事により、電子カルテの項目表示位置、系列表記に変更が生じます。

電子カルテ画面イメージ

項目名	単位	従来 (~4/1)	今後 (4/3~)
TG	mg/dL		50
TG	mg/dL	50	
ALB	g/dL	4.0	4.0
HDL-C	U/L	55	
HDL-C	U/L		56
LDL-C	U/L	100	
LDL-C	U/L		100
AST	U/L	30	30
ALT	U/L	20	20
T-CHO	U/L	200	
T-CHO	U/L		200

電子カルテメーカー、機種によって

- ・項目の並び順が変わる
- ・時系列表示の並び順が変わる
- ・従来項目位置が空欄となる

などの表示位置が変わることがあります

■ 遊離トリヨードサイロニン (Free T₃) [CLEIA]

測定試薬の販売終了、新試薬販売により測定試薬を変更いたします。これに伴い、検査要項の変更はありません
 現法と新法の相関につきましては、別途インフォメーションにてご連絡いたします。

▼現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目コード	変更はありません	A4493
検査方法	変更はありません	CLEIA
基準値 (単位)	変更はありません	2.52~4.06 (pg/mL)
報告範囲	変更はありません	0.67未満、0.67~29.9、30.0以上
報告桁数	変更はありません	有効3桁、整数2桁、小数2桁
JLAC10コード	変更はありません	血清 4B015-0000-023-052

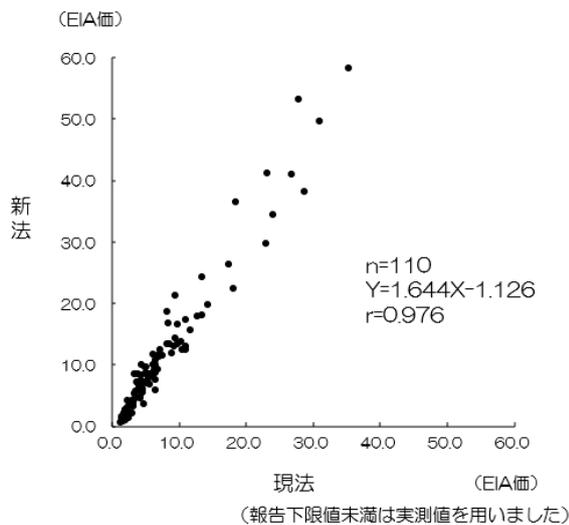
■ ムンプスウイルスIgG

測定試薬の販売終了、新試薬販売により測定試薬を変更いたします。新試薬は現試薬と比較して反応性が向上（判定保留の減少）しております。これに伴い、検査方法、代表材料の基準値の変更等はありませんが、髄液について性能検証、基準値の確認が出来ないため、報告書、総合検査案内欄外の髄液記載を削除させていただき、髄液検体については参考値コメントを付与させていただきます。

▼現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目コード	変更はありません	61913
検査方法	変更はありません	EIA
基準値（単位）	血清 変更はありません ※髄液の基準値を削除 判定基準：変更はありません	血清 2.0未満 陰性 判定基準：総合検査案内参照（なし）
報告範囲	変更はありません	2.0未満、2.0~127、128以上
報告桁数	変更はありません	有効3桁、整数5桁、小数1桁
JLAC10コード	変更はありません	血清 5F432-1431-023-023
総合検査案内欄外記載	固相法：髄液は測定可能ですが、参考値となります。検体量 0.4mL（冷蔵）	固相法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL（冷蔵）基準値 0.20未満 陰性

●相関図



●相関一致表

		現法		
		(-) 2.0未満	(±) 2.0~3.9	(+) 4.0以上
新法	(-) 2.0未満	8	4	0
	(±) 2.0~3.9	1	15	1
	(+) 4.0以上	0	13	68

一致率：82.7% (n=110)

●参考文献

尾崎 隆男, 他：臨床とウイルス 50 (3) : 129~133, 2022. (検査方法参考文献)

■ 特異的IgE (View アレルギー-39)

報告書アレルギーの出力順位について添付文書の並びになっておりましたが、より適切な並びへ変更させていただきます。

- ① 吸入系アレルギーが上下で分かれて記載されていましたが、系統別にまとめました
- ② PFAS (花粉・食物アレルギー-症候群) 関連項目をまとめました (【新】赤枠内)

▼現新比較

【新】

【現】

【新報告書見本】

アレルギー名	アレルギー名
ヤケヒョウヒダニ	ヤケヒョウヒダニ
ハウスダスト1	ネコ皮膚
ゴキブリ	イヌ皮膚
ガ	卵白
ネコ皮膚	ミルク
イヌ皮膚	小麦
マラセチア (属)	米
アルテルナリア	ゴマ
アスペルギルス	ソバ
カンジダ	ピーナッツ
ハンノキ (属)	大豆
スギ	カニ
ヒノキ	エビ
シラカンバ (属)	豚肉
カモガヤ	牛肉
オオアワガエリ	マグロ
ブタクサ	サケ
ヨモギ	リンゴ
リンゴ	サバ
キウイ	鶏肉
バナナ	キウイ
卵白	バナナ
オボムコイド	オボムコイド
ミルク	カモガヤ
小麦	オオアワガエリ
大豆	ハウスダスト1
米	ゴキブリ
ゴマ	ガ
ソバ	ラテックス
ピーナッツ	アスペルギルス
エビ	カンジダ
カニ	アルテルナリア
マグロ	マラセチア (属)
サケ	ハンノキ (属)
サバ	シラカンバ (属)
鶏肉	スギ
豚肉	ヒノキ
牛肉	ブタクサ
ラテックス	ヨモギ

検査項目	結果	コメント	基準値	陰性	陽性
非特異的IgE アトピー鑑別試験 TARC					
アレルギー名	クラス	結果	コメント	基準値	陰性 ← 陽性 →
特異的IgE (VIEW39)			950		
ヤケヒョウヒダニ	0	0.00			
ハウスダスト1	0	0.27未満			
ゴキブリ	1	0.27			
ガ	1	0.49			
ネコ皮膚	2	0.50			
イヌ皮膚	2	0.93			
マラセチア (属)	2	0.94			
アスペルギルス	2	1.36			
カンジダ	2	1.37			
ハンノキ (属)	2	1.79			
ソバ (属)	3	1.80			
スギ	3	4.42			
ヒノキ	3	4.43			
シラカンバ (属)	3	7.04			
カモガヤ	4	7.05			
オオアワガエリ	4	12.19			
ブタクサ	4	12.20			
ヨモギ	4	17.34			
リンゴ	5	17.35			
サケ	5	23.32			
バナナ	5	23.33			
卵白	5	29.30			
オボムコイド	6	29.31以上			
ミルク (牛乳)	0	0.00			
小麦	0	0.27未満			
大豆	1	0.27			
米	2	0.50			
ゴマ	2	0.94			
ソバ	2	1.37			
ピーナッツ	3	1.80			
エビ	3	4.43			
カニ	4	7.05			
豚肉	4	12.20			
牛肉	5	17.35			
マグロ	5	23.33			
鶏肉	6	29.31以上			
ラテックス	0	0.00			
ゴキブリ	0	0.27未満			

吸入系
食餌系
真菌系・その他